

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2009-519992(P2009-519992A)

【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-546323(P2008-546323)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 2 3 G	4/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/34
A 6 1 Q	11/00
A 6 1 K	9/16
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	9/10
A 6 1 K	9/08
A 2 3 G	3/30

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月6日(2012.6.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

少なくとも80%のメントール粒子の量、好ましくは少なくとも90%のメントール粒子の量において、最小直径と最大直径の比率(商)d/Dが1.00 d/D 0.80の範囲である。

メントール粒子の少なくとも80%の量、好ましくは少なくとも90%の量において、最小直径と最大直径の商d/Dが、1.00 d/D 0.90の式を満たし、より好ましくは、1.00 d/D 0.95の式を満たすことが、特に好ましい。

本発明の方法により、そのような好ましい球状粒子の集合を製造することができる。すなわち、メントールペレットとは異なり、型の継ぎ目が無い、非常に均一な形状の球状メントール(メントール顆粒)を製造することができる。